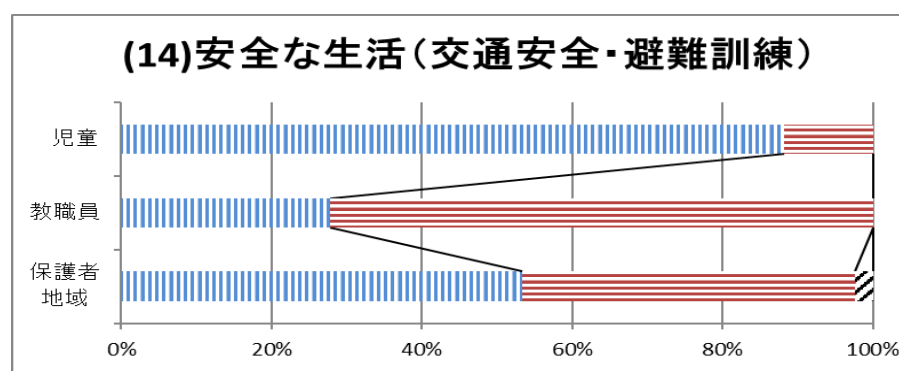
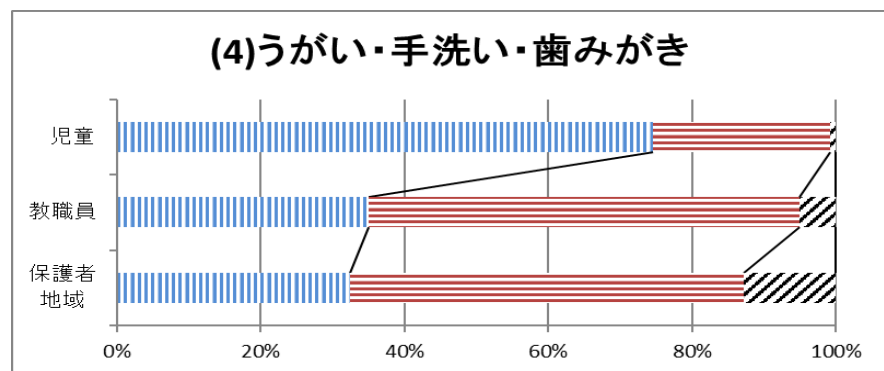
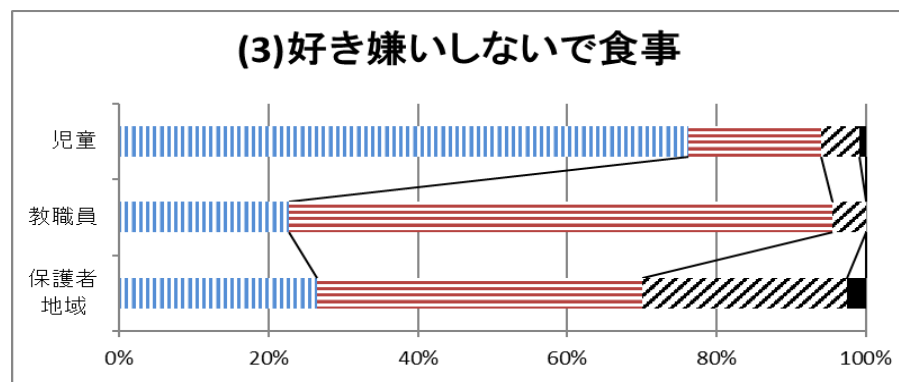
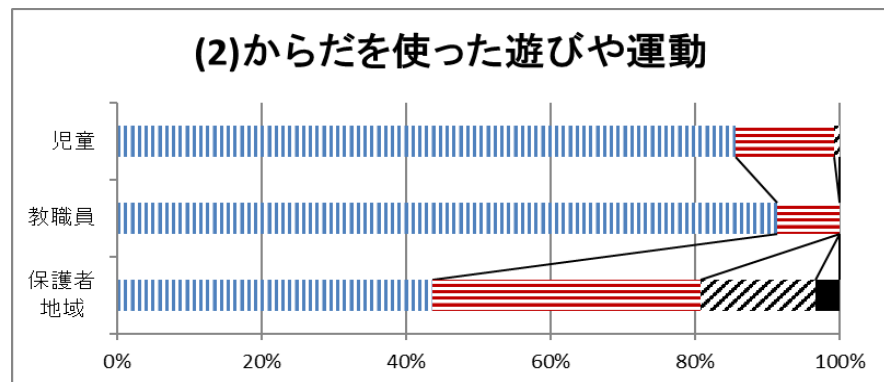


平成29年度第2回 学校教育・家庭生活についてのアンケート結果並びに考察

<行動しよう>



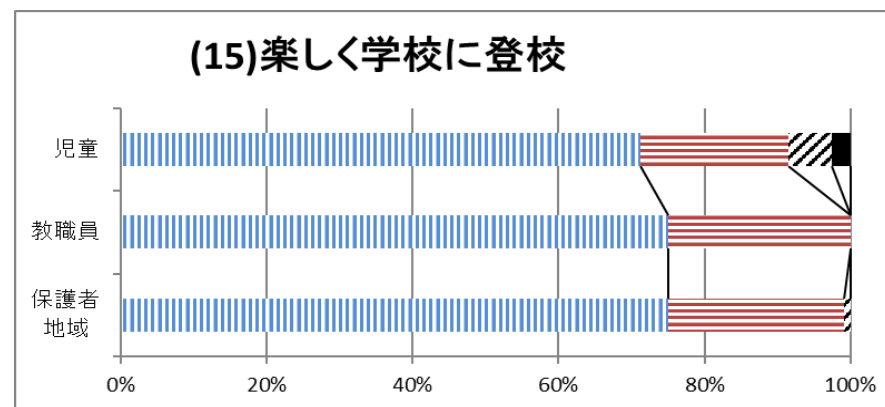
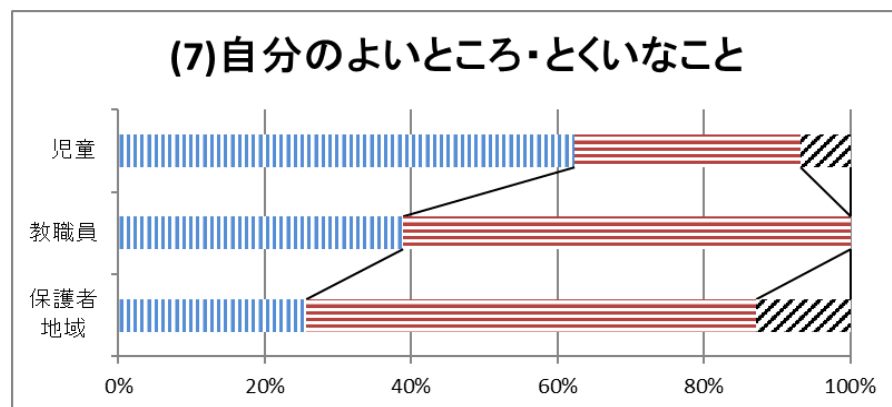
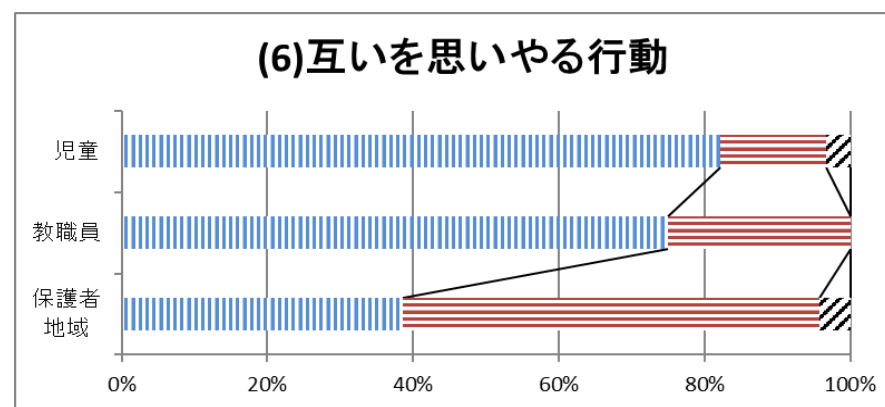
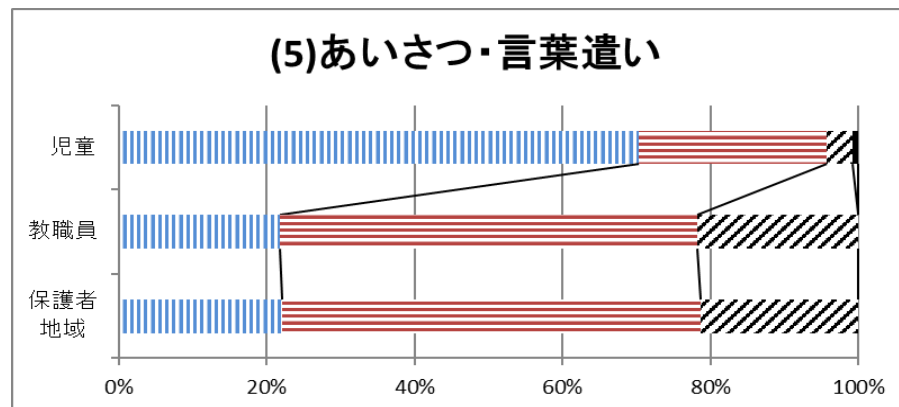
凡例

(考察)

4項目とも児童・教職員の評価は指標を達成し、良い状態であるといえます。ただし、保護者・地域の方々の評価では、どの項目も指標を達成できませんでした。(3)・(4)については、3年間の経年変化を見ると、毎年良い方向へ推移してきています。

(2)については、「体を使って遊ぼうカード」や休み時間の教師からの働きかけにより、外で遊ぶ姿が多く見られました。(3)については、「給食を残さず食べようの日」の定期的な実施や、外部講師による食育の授業などの取組により、好き嫌いをせず給食を食べられるようになってきました。しかし、(2)(3)ともに保護者・地域の方の評価において、否定的な回答が2、3割になっています。保健関係のカードや体育関係のカードを活用し、家庭や地域においても、外で元気に遊んだり、好き嫌いせず食べたりすることができるよう、保護者の皆さんとの協力体制を大切にしていきます。(4)については、養護教諭を中心に時宜を得た子どもたちへの働きかけ、教職員による継続的な指導により、うがい・手洗い、歯磨きの習慣が身に付いています。(14)については、これからも安全な生活が送れるよう、交通安全指導・避難訓練等の工夫した取組をしていきます。

<見つけよう>

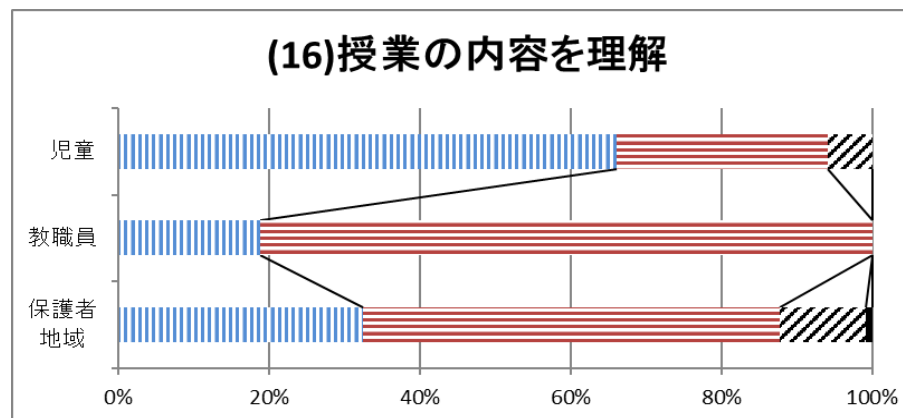
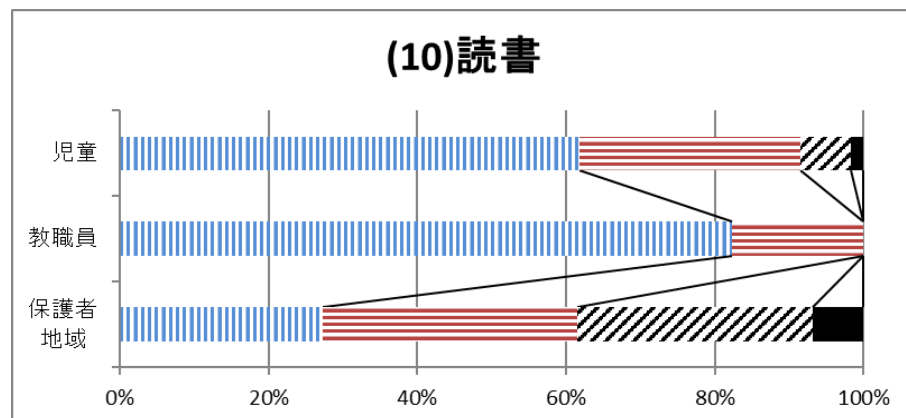
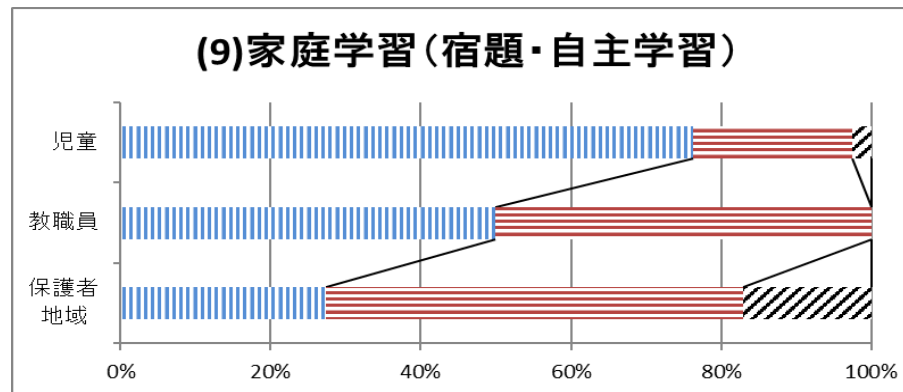
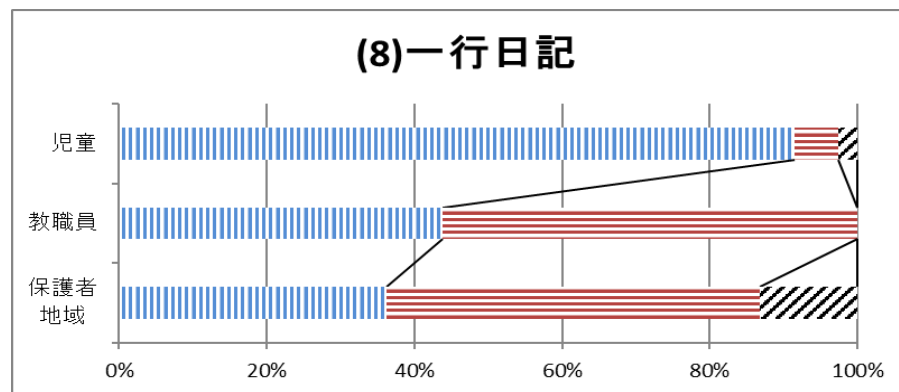


(考察)

(5) の教職員・保護者地域の方の評価以外はすべて指標を達成し、大変良い状態であるといえます。

(5) については、教職員の評価が昨年度より肯定的な回答が15パーセントほど下がり、指標を達成できませんでした。保護者による声掛けボランティアの反省でも、あいさつができていないことがうかがえます。児童会によるあいさつ運動や全教職員での働きかけなど、工夫改善を図りたいと思います。(6) については、なかよし班活動の充実により、年齢に応じた役割を自覚し、互いを思いやる行動が多く見られました。これからも異年齢集団による活動を積極的に推進していきます。(6)・(15) ともにとても良い状態ですが、引き続き「生活アンケート」や「Q-Uテスト」等を定期的の実施することにより実態を把握し、子どもたち一人ひとりの不安や悩み等に寄り添い、適切かつ迅速な支援をしていきます。(7) については、昨年度までは「全く当てはまらない」を選択した児童が5パーセントほど見られましたが、今年度は一人もいませんでした。人権週間での取組や日常の支援により、自己肯定感が少しずつ高まってきていることと思われます。

<深めよう>

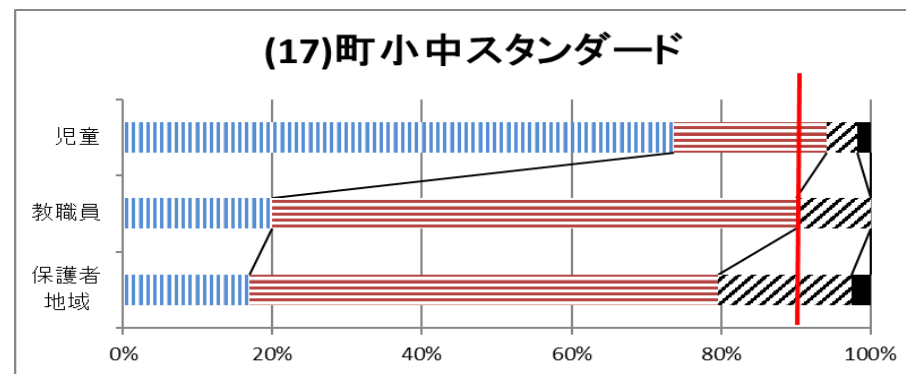
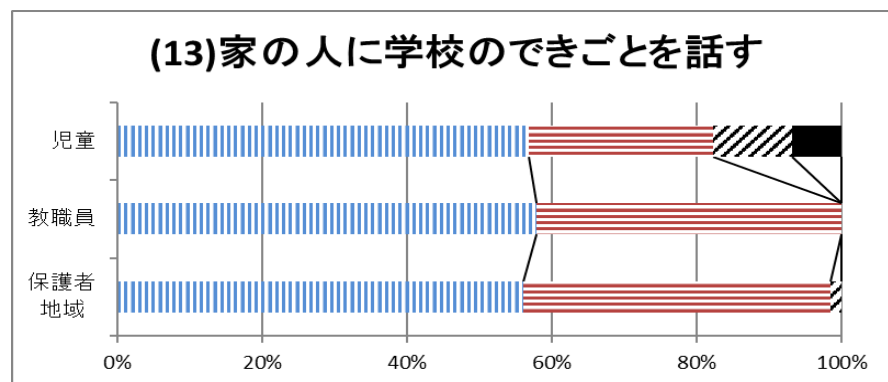
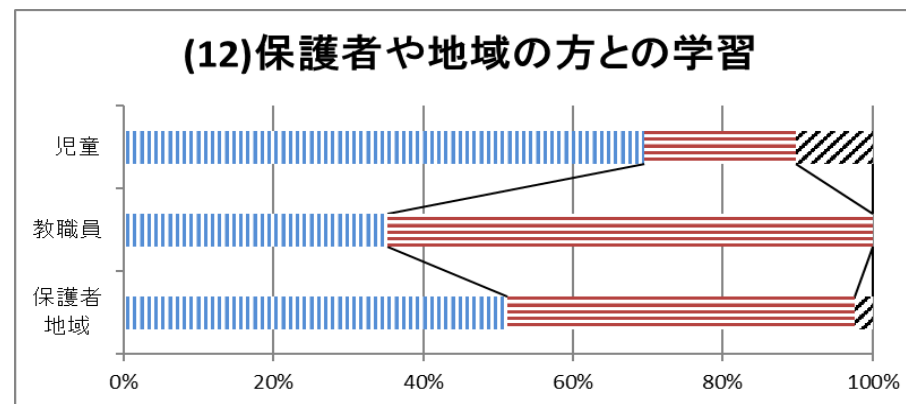
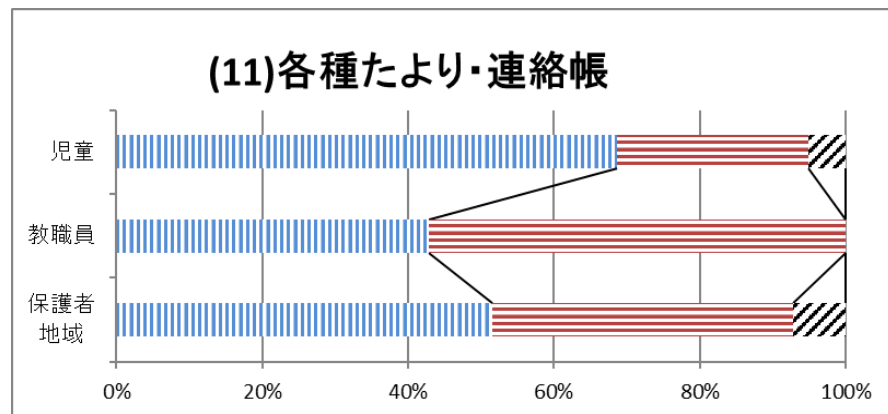


(考察)

(10) の保護者・地域の方の評価以外はすべて指標を達成し、良い状態であるといえます。

(8) については、教職員の「よくできている」の評価が昨年度より20パーセント近く下がりました。書く習慣はしっかりと身に付いていますが、その内容についての支援が必要な段階に来ていると思われます。表現力・思考力の育成を目指して、継続して指導していきます。(9) については、年々良い状態へと変わってきています。各家庭でのお子さんへの働きかけと学校での働きかけを今後も協力して続けていきたいと思ひます。(10) については、保護者・地域の方の評価が指標を下回りました。朝の読書や読書週間における働きかけ、日常の読書指導により、学校においては本に親しむ習慣が身に付いてきていますが、家庭では様々な要因で本に親しめていない状況にあると思われます。また、保護者・地域の方のもっと読書に親しんでほしいという願ひの表れでもあると思われます。家読について、図書館だよりや家読カードを継続して活用していきます。(16) については、教職員の「よくできている」の評価が昨年度に比べ下がりました。子どもたちにとって、わかる・できる・楽しい授業となるように教材研究を深め、ねらいの明確化、自力解決・集団解決の場の設定、書くことによる振り返りを重視し、目標と指導と評価の一体化を図っていきます。

<つながろう>



(考察)

4項目ともほぼ指標を達成し、良い状態であるといえます。(17)の町小中スタンダードについては、小中連携を推進するため、各校の児童・生徒指導主任会、学習指導主任会で話し合い決定した「野木町生活の約束」「野木町学習の約束」の中から選んで設定した項目です。

(11)については、すべて指標を達成し、良い状態であるといえます。各種便りや連絡帳、ホームページ等を活用して学校の様子を公開し、学校と家庭、地域との連携をさらに進めていきたいと思えます。(12)については、たくさんのボランティアの方の協力を得て学習が進められています。ボランティアの方とのかかわりを通して、様々な考えに触れたり、その生きざまを学んだりし、子どもたちは学習の幅を広げ、深めることができました。ご協力ありがとうございました。(13)については、児童の否定的な回答が昨年度より増えました。一行日記や各種便り、連絡帳等を、親子の会話のきっかけにしていだければと思います。(17)については、児童と教職員・保護者地域の方との「よくあてはまる」の数値が大きくなりました。それぞれの意識の違いや、大人からの希望の現れでもあると思えます。小中連携を意識した取組を進めていきたいと思えます。

子どもたちの健全な育成には、学校と家庭、地域のより良き関係・連携が欠かせません。来年度からの学校運営協議会の設置に合わせ、「地域とともにある学校」のさらなる推進を図っていききたいと考えています。